

平成6年12月18日発行(隔月) 四頁(四角発行)通巻313号 昭和45年3月18日第3種郵便物認可

# スポーツ少年 | 12

1994年

特集●がんばれ/女性指導者、女子団員//2  
連載●Let's Join 何でも体験してみよう/24  
連載小説●小さな挑戦者/7



KEIRIN  
00

競輪補助事業

財団法人 日本体育協会日本スポーツ少年団



特集

# がんばれ！ 女性指導者・女子団員！！②

日本スポーツ少年団広報普及部会長 石山 昭夫

## 大町市少年剣道クラブスポーツ少年団（長野県大町市）

1. 所在地：長野県大町市大字平森10567
2. 代表者：北澤忠光
3. 団員数：52名（うち女子18名）
4. 指導者数：30名（うち女性16名）
5. 活動日時：毎週木曜日、午後7時～9時
6. 活動場所：大町西小学校体育館ほか

「団の規模、組織、活動など、どれをとって見てもスポーツ少年団として適正で模範的な団体ではないでしょうか。長野県内では一番頑張っている立派な団体だと思いますよ。」とは市本部事務局の千野さんの推薦の言葉。

発足は昭和52年、昭和54年に日本スポーツ少年団に初登録していますから今年で15年になります。

剣道の単一種目で、毎週木曜日の夜に活動しています。以下は技術指導者の木村隆一さんと団長の北澤忠光さんのインタビューから。

——剣道の場合は一般的に女の子も多少なりとも参加していますが……。

小学生団員は男子14名に対して女子が10名ですので、女の子の勢力がとても強い状況です。剣道の5人戦の試合では、4人の女子団員が正選手になっています。そのために対戦相手の応援は「女に負けるな！」と激しい声援が飛ぶくらいです。

——母集団のお母さんたちが多くですね。

私たちの団ではお母さんたちが頑張っています。育成母集団では「子どもたちにスポーツをさせる



だけでなく、自分たちもスポーツを」を合言葉に毎週月曜日にバレーボールの練習をしています。年2回ほど地域のバレーボール大会に参加し、近頃は勝つこともあります。これを支えているのはお父さんコーチ、マネージャーです。

そのほかにもソフトバレー、綱引き、マレットゴルフなど多方面の活動をしています。

——30人もの有資格指導者がいらっしゃいますが、

育成母集団の活動のひとつとして、認定員養成講習会に参加しようと頑張っていますので、30人もいます。そのうち16人がお母さんをはじめとする女性指導者です。

——全員が剣道を？

〇剣道を指導しているのは3人で、他の指導者は

主として育成指導を担当しています。

——クラブハウスがあるのは強みですね。

〇このクラブにはクラブハウスがあります。木村さんのお父さんが青果業を営んでいましたがやめられたので、店舗を改造し提供してくれました。

〇団員も指導者もなにかといえばここに集まります。

〇表の日除けに「守破離」(しゅはり)というクラブの看板が書いてありました。守とは師の教えを守ること、破とはその教えを越えること、離とは師を離れ独立すること。それをスローガンとして、団員、指導者、母集団がひとつになって頑張っています。クラブハウスの中の整理棚には団のあらゆる書類、記録、写真集、トロフィー、カップなどが整然と並んでいました。